

令和 3 年 第 3 回

# 伊根町議会定例会会議録

令和 3 年 9 月 9 日（第 2 号）

伊 根 町 議 会

# 令和3年 第3回 (定例会)

## 伊根町議会 会議録 (第2号)

招集年月日	令和3年 9月 9日 木曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	令和3年 9月 9日 9時26分			議長	濱野茂樹	
	閉会	令和3年 9月22日 11時 9分			議長	濱野茂樹	
応(不応)招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	上辻 亨	○	7	松山義宗	○	
	3	長谷川貴之	○	8	佐戸仁志	○	
	4	中嶋 章	○	9	濱野茂樹	○	
	5	山根朝子	○				
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	住民生活課長	増井和彦	○	
	副町長	上山富夫	○	保健福祉課長	石野 靖	○	
	教育長	岩佐好正	○	地域整備課長	森田連三	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	石井明博	○	
	企画観光課長	千賀和孝	○				
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	千賀さゆり	○	
会 議 録 署名議員	3番	長谷川貴之		7番	松山 義宗		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

# 令和3年 第3回 伊根町議会定例会

## 議事日程 (第2号)

令和3年9月9日(木)

午前 9時26分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第37号 令和2年度伊根町歳入歳出決算認定について  
(質疑)

## 会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第 37 号 令和 2 年度伊根町歳入歳出決算認定について  
(質疑)

## 会 議 の 経 過

令和3年9月9日（木）  
午 前 9時26分 開議

### ◎ 開会・開議の宣言

○議長（濱野茂樹君） おはようございます。

本日は、前年度の会計決算を審議する決算審査であります。次の予算編成につなげるための大事な審査であり、未来に向けたプロセスであります。活発な質疑をお願いいたします。

なお、質疑は決算内容についてのみお受けし、質問の際は審議をスムーズに進めるため、決算附属書何ページ、もしくは決算書何ページと発言した後、質問をお願いいたします。

ただいまの出席議員は全員です。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

### ◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（濱野茂樹君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

3番、長谷川 議員

7番、松 山 議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員をお願いいたします。

### ◎ 日程第2 議案第37号

○議長（濱野茂樹君） 日程第2、議案第37号 令和2年度伊根町歳入歳出決算認定についてを議題とします。

初めに、質疑区分についてお諮りします。

慣例により、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を一区切りとします。一般会計歳入歳出決算の歳出のうち、1款議会費から7款商工費までを一区切りとします。次に、8款土木費から14款予備費までを一区切り、合計3区切りとして質疑をお願いしたいと思います。

特別会計は、国民健康保険特別会計で、まず、事業勘定歳入歳出決算を一区切り、次に、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算を一括して一区切り、合計2区切りで質疑をお願いしたいと思います。

その他の特別会計は、会計ごとに区切って質疑をお願いいたします。

以上のような区分で質疑を行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議がないようですので、そのような区分で質疑を行います。

それでは、最初に、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を対象として質疑を行います。

質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。

次に、一般会計歳出の1款議会費から7款商工費までを対象として質疑を行います。質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 決算附属書の13ページの②の行政情報発信事業についてです。「いねばん」のほかに、SNSによる発信を行ったとありますけれども、「いねばん」の利用状況というか使用状況についてはどうなっていますか。

というのは、電源を入れていない家庭とか、操作を全くしていない人もいるというふうに聞いて

います。こういうインターネットを使うツールというのは、使える人はどんどん便利になっていくけれども、使えない人はどんどん置き去りにされていっていると思うんです。やっぱり利用ができていない人は、多分どの家庭かというのはつかまれていると思うので、利用できていない人に対して個別の対応というのが必要だと思いますが、そこら辺はどうでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 議員おっしゃられますとおり、電源の入っていない世帯の確認はさせていただいております。ただ、タブレットの電源が入っていないイコール情報が受け取れていないというものでもなく、今回のシステムにつきましては、個人のスマホでも情報が受け取れるようにさせていただいておりますので、タブレットは電源は入れていないけれども、スマホ連携によりまして、スマホのほうで情報を受け取られておられるという方もおられるというふうには把握をさせていただいております。

おっしゃられました個別対応が必要な方もおられると思いますので、今年度のアンケート調査等によりまして、そういう方への対応も十分、今後させていただきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 決算書の67ページ、ふるさと応援基金について伺います。

表の中の項目の中に「指定なし」というのがあるんですけども、「指定なし」とは何にお使いになったのか。それから、金額が640万円あったと思うんですが、積立金が94円ということで、これは手数料とか、ふるさと納税の返礼品を返すと、これぐらいの金額になってしまうということなんでしょうか。

それと、決算書69ページ、再生可能エネルギーについて伺います。

調査内容について、残土処分場に大規模太陽光発電を活用というふうにあるんですが、確かあそこは森林に戻すということだったと思うんですが、その辺をちょっとお伺いいたします。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） まず、ふるさと応援寄附金の指定なしという区分につきましては、伊根町のほうでは、舟屋の維持、町並み美化、少子高齢化対策、農林水産業の振興、観光振興という5つの区分をふるさと納税の使途として指定させていただいているんですけども、特にそれを指定しないという方がおられるというのが、この640万1,000円という金額になります。その方々につきましては、町長のほうで目的をつけまして、基金への積立てをさせていただいております。

それから、94円につきましては、寄附金を募集するに当たりまして必要な経費がございますので、目的のないところから控除いたしまして、残った94円を目的に振り分けて積立てをさせていただいているという状況です。

それから、再エネ活用、エネルギー導入可能性調査の残土処分場での大規模太陽光発電の検討ですけれども、これはあくまで検討というところで、あそこの土地でしたらどれぐらいの発電量の装置が設置でき、その場合の関西電力への送電の関係とか、そういうことを可能性として調査をさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 目的なしということは、指定がないというのは、どう振り分けていいかというところもあるでしょうし、そこは行政のほうにお任せするというのでいいのかなというふうに思っております。

続きまして、決算書の71ページです。減債基金の積立金について伺います。

前年度は利子相当分ということで、それだけの積立てだったと思うんですけども、2年度は2億円以上のものが積み立てられております。これについて、ちょっとお伺いしたいと思います。

2億円が減債基金の中で返済するのに必要であったかどうかということをお伺いしたい。

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。

休憩 9時39分

再開 9時40分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま、減債基金の積立額についてのご質問を頂戴いたしました。歳計剰余金のうち2分の1の額、これは実質収支のですね、につきましては、地方財政法の規定によりまして、2分の1以上財政調整基金に積み立てるというルールがございます。これは法に定められたルールでございますので、その金額につきましては財政調整基金に積み立てる。それを除いた歳計剰余金につきましては、今後の財政運営方針に従って、どのように使うのか、例えば繰上償還に使うのか、基金に積み立てるのか、これは自治体の裁量とされておるところでございます。

現在の財政調整基金の残高と減債基金の残高を見比べてまして、近年、減債基金のほうが増加しておりますので、減債基金のほうに積み立てるべく積立てをさせていただいたというところでございます。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 財政調整基金が多いからということなんですかね。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 潤沢かどうかという意味で多いということではなく、金額を相対的に比較して、財政調整基金のほうが残っておりますので、減債基金を積立てさせていただいたということでございます。

財政調整基金につきましても、一般論として、自治体の、例えば標準財政規模であるとか予算編成規模に比して、どの程度という基準というのは明確なものがないものでございまして、近年の財政運営の状況ですとか、少し前になりますが、集中改革プランで財政健全化を果たした当時の基金の残高の状況、こういったものを勘案しまして、減債目的で使える基金と財政運営目的で特に用途が限定されない目的の基金と、こういったあたりを考えた上での振り分けの結果というふうにご了解いただけましたらと思います。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 附属書の20ページ、12番の再生可能エネルギー導入可能性調査事業ですが、結果が出たということで記載がしてあるんですけども、これを受けて、今後どういうふう再生可能エネルギーを伊根町として導入しようというのか。一つは、太陽光発電という話は伺いました。そのほかはどういうふうなお考えがあるのか、それから、中身について、温泉熱のところ農業分野での利用可能性が示唆されたということなんですけど、これはどういうことであつたのかお伺いしたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 太陽光以外のその他のエネルギーの可能性ですけども、一つは温泉熱を調査いたしまして、陸上養殖ではなかなかちょっと可能性というか、今後使い勝手といたしますか、実現可能性は低いという結果になりました。

農業分野につきましては、検討委員会のほうに農業委員会の会長さんとか入っていただいている中で、あと業者さんのヒアリングをしていく中で、町内の飲食店等、葉物野菜とかそういったものも、町内産でなかなか入手しづらいという状況があつたということもございまして、今年度、その可能性を改めて、農業分野への利用の可能性を調査させていただいております。それは温泉熱に限らず、例えば地中熱とか太陽光も含めて、農業分野でこういった再エネが活用できるかというのを今年度調査させていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 決算附属書の39ページの子育て支援共通事業費です。（2）で、保育所におけるICT化推進のための視察を行ったとありますけれども、保育所でのICT化をどのように進めていこうと考えていらっしゃるのかお聞きしたいと思います。

そして、40ページですけども、保育所管理運営費で入所の状況が書かれていますけれども、入所の待機者という子供さんはいらっしゃいますか。その2点お願いします。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） それでは、ただいま質問いただきました保育所におけるICT化推進のための視察ということになります。

令和2年度、一定、保育所業務の見直しのことでシステム導入の予算が組んでありまして、それをいかに有効に執行し、保育所業務を円滑に運営できるかというところを検討しております。一つには、保育園につきましては8時から18時、夕方6時ですね、12時間、途中職員休憩があるにしても、1人の職員でその時間フルにというわけにはいかず、早出勤務、遅出勤務、通常勤務という3つの勤務形態があったりしまして、そういったシステム、出勤の管理がまずしやすいものがあるかどうか。

さらには、保育園につきましては、それぞれイメージしやすいものとしまして、小学校でいう1学期、2学期、3学期、期ごとの成長であったり、保育の狙いであったり、それに対して、どのようなところまでの成長が見込めた、今後どうつなげていくかということをごとに分析し、さらには年ごとの総括、それを低い年齢の子は上の年齢に上がったときにつないでいく、さらには小学校につないでいくといったものを書類で作っているわけですね。そういったものが、近年のタブレットであったり、パソコンであったり管理ができれば、データの移行がスムーズにいくであろう。

さらには、保護者さんへの通知についても、そういったものでタイムリーにといいますか、必要な時期に必要な情報だけを小出しにといいますか、送る方法もある。そういった総合的なシステムが世の中に幾つかありまして、それが実際、伊根保育園、本庄保育所、児童さん少ない中、職員もいろんな業務をしている中、そういったものが使えるかどうかを、予算はあるけれども、まずは研究してみないと、導入したけれども使えなかった、使うことによってさらに業務量が増えてきて、導入したことによるメリットとデメリットを比較すべきだなと判断しまして、近隣のところへ行つて、実際保育士に使い具合などを聞かせていただく視察をさせていただきまして、若干、令和2年度中の結論としましては、導入は見送り、ちょっと時期尚早かなという結論に至ったところです。

そうこうしているうちに「いねばん」が普及しましたので、ひょっとして保護者へのお知らせは「いねばん」を活用してできるかなと、今、検討も進めていく上で、そういうものから始めれば、最終的に、やはり保育専門のシステムを導入したほうが良いという結論になるかどうか分かりませんが、令和2年度は視察を行った結果、少し見送ろうという結論に至りました。

もう一つ質問がありましたのは、保育所入所の待機というところですね。本町で進めております1歳児保育に限りますと、待機児童はなしという結論でございます。

○議長（濱野茂樹君） 3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 決算書の109ページです。火葬場の周辺清掃業務についてです。

火葬場の清掃業務につきましては、施設また周辺の駐車場の清掃も入っておるかと思えます。現在、各漁港が釣り人の駐車締め出しといいますか、駐車禁止のほうを徹底されている関係で、火葬場の駐車場が釣り人の駐車場になっておるといふ現状があるということをお聞きしておりますし、私も一度その現場を見たことがあります。

昨年度、火葬場の使用が9件と、令和元年度に比べまして利用が多かったようですが、実際に釣り人の駐車がロコミで広まって、そういった実際に火葬場を使用されるときに支障が出てくるような気もしております。そういったことの把握と今後の対策を考えておられるのかお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） ただいまの長谷川議員のご質問にお答えしたいと思います。

非常に申し訳ないんですけども、町としましてその実態を把握しておりませんでした。なので、今後、振興公社とも十分にそういった、取締りじゃないですけども、そういった実態があるのかということも踏まえてちょっと確認をさせていただいて、今後対策を取っていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。

休憩 9時51分

再開 9時54分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

ほかに質疑はありませんか。2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 附属書で26ページ、決算書のほうでは79ページで、個人番号カード交

付事業ということで89万4,600円あるんですが、通知カード保有件数5件、受取拒否また住所不在というのが5件あるということなんですが、これずっと預かっておるのか、今後どうされるのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 上辻議員のご質問にお答えをさせていただきたいと思えます。

現在、昨年度からなんですけれども、保有件数としまして、お送りさせていただいたんですけれども、宛名なしで返ってきたという状況、それから受取拒否ということで返ってきた件数が合計5件ということですので、もうしばらくといいますか、当分の間は、もう一度チャレンジして郵送してみるどうか、そういう対応をしていかないかかなというふうには思っております。

さらに、京都府自治振興課のほうにも確認をしまして、そういったケースについて、今後どういうふうにして対応したらいいかということも確認をしながら、対応を図っていきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 決算附属書の70ページの伊根浦公園管理運営費です。

(3)に利益還元使途として自治会等の観光関連活動支援とありますけれども、具体的には、これはどういう活動のことを指しているんですか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 今年度の観光協会の利益還元につきましては、自治会等への支援等ということで、滝山保勝会さんが整備をされました作業路整備に補助金を支出したというふうに報告をいただいております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 予算書の121ページ、農業振興費について伺います。

当初予算が2,100万円、補正が1,050万円、それで不用額が1,000万円というふうになっているんですけれども、何かできない事業があったのかどうかということお伺いしたい。それから観光費、決算書の135ページですね。ここも同じく、当初予算が7,800万円、補正が8,700万円、合計で1億6,000万円の予算ですけれども、支出が6,500万円、要するに1億円が繰越したとか不用額というふうになっているんですが、これコロナの影響があったとは思いますが、次の年度に送ったもの、それから不用となったもの、事業ができなかったというものがあれば教えてください。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 観光費につきましてお答えさせていただきます。

観光費につきましては、8,700万円補正をさせていただきまして、そのほとんどが明許繰越の8,800万円というところで、旧向井邸の観光施設整備のほうの事業に繰越しをさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 大変申し訳ございません、農業振興費の不用額1,000万につきましては、大変申し訳ございません、後ほどお答えをさせていただければと思います。

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。

休憩 10時01分

再開 10時02分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

ほかに質疑はありませんか。8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 附属書の17ページ、お試し住宅の運営ですが、運営に要した額が113万5,000円、利用者に利用料をもらっているにもかかわらず113万円要ったということの主な要因をお聞かせ願いたいと思えます。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 113万5,667円、内訳につきましては、決算書の65ページの定住促進事業になるわけなんですけれども、利用者から徴収し切れないものとしましては、浄

化槽の点検等、それから清掃業務といたしまして、利用者が入れ替わるたびとか、今年度は利用がなかったわけなんですけれども、清掃のほうを業者に委託したりしてやらせていただいております。

それから、住居の借上料につきましても、所有者の方には月額3万円お支払いし、利用者の方には2万5,000円で徴収しておりますので、その差が出ていると思います。

それからあとは、テレビ組合の関係とか、工事請負でエアコンの取替え等をやらせていただいたというものが積み上がって113万5,667円となっております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） ということは、これから毎年、ほぼ同額のお金がかかっていくと。下手したら、利用者が多ければ、もっともっと余計かかるということではよろしいのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） その点、ちょっと改善策も検討しております、光熱水費につきましては、実費徴収をさせていただいておりますけれども、その点も、直接所有者さんのほうに名義を変えて、3か月間ですけれども、関電のほうとそういうことができないかという調整はさせていただいております。

その他につきましては、今年度並みのものがかかってくると思っております、利用料で全てが相殺できるものではないと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 特別会計で聞いていいのかなのがよく分からないんですが、附属書の52ページの伊根診と本庄診の赤字の補填分ですわね。特別会計のほうを見ますと、そんな大きな差がないような気がするんですが、伊根診は300万円、本庄診療所が2,000万円、この金額の要因は何か、ちょっと教えていただきたいと思っております。

○議長（濱野茂樹君） 増井課長。

○住民生活課長（増井和彦君） 佐戸議員のご質問にお答えをさせていただきます。

全協でも説明させていただきましたとおり、伊根診、本庄診療所、共にコロナ禍の影響で診療収入が減少しました。さらに、本庄診療所につきましては、一番よく見ていただけたら分かりやすいのが、附属書の125ページをご覧ください。

この中で、本庄診療所につきましては、各種電子カルテの端末購入事業だったりだとか、それから浄化槽の改良工事、そういった工事が伊根診に比べて、大幅に事業としては多かったということも一つの要因かなというふうに思っております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。10時15分まで休憩といたします。

休憩 10時08分

再開 10時20分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 大変お待たせいたしました。

農業振興費の不用額1,000万円の件でございますが、まず一番大きなものとして、移住者への住宅改修支援、これが3件、当初で計上しておいたものが未執行に終わりましたので、その分が丸々執行残で残っております。

さらに、担い手育成の事業が250万円、それからコロナウイルス対策支援のほうは100万円、ほかは執行残ということで1,000万円になっておるというものでございます。

○議長（濱野茂樹君） 7番、松山議員。

○7番（松山義宗君） 移住促進住宅整備事業補助金3件が未執行というのは、何か事情があつてのことでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 例年二、三件ぐらいの移住者が住宅改修のほうを要望されますので、それを見込んで、特に案件、これというものがあつたわけではなく、3件当初予算のほうで計上させていただいたんですけども、それが昨年度丸々、どなたもご要望なかったということで、執行せずそのまま残つたというものでございます。

○議長（濱野茂樹君） 次に、一般会計歳出の8款土木費から14款予備費までを対象として質疑を行います。

○議長（濱野茂樹君） 8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 附属書の78ページ、防災備蓄品の一覧ですが、コロナウイルス関係の備蓄品がサーモグラフィカメラ4台、酸素濃度計4個ぐらいのようなんですけど、今年の3月といたしますと、コロナウイルスが蔓延して一年以上たっておりますが、マスク、アルコールなどの備蓄がないというのは、買えなかったのか、それか必要ないと思われたのか、その辺お聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 防災関係で備蓄しましたものをここに記載させていただいております、マスク、消毒薬類につきましては保健センターの備蓄でさせていただいております、実際にはございますんですけど、防災費の部分で一覧の中にはないということでございます。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 附属書の71ページ、8款土木費です。

残土処分場の管理事業の中で、工事請負費沈砂池土砂撤去等の工事なんですけど、熱海のほうでの土砂の流出という大きな問題が出てきてまして、伊根町では、残土処分場では傾斜を大変緩くしたりとか、沈砂池を設けたりしてとか、土砂の流出については基本的には安全だというふうに聞かされておるんですけども、この沈砂池の土砂撤去等工事ということで1,100万円、どの程度の土砂の流出、流れ出というのが池にあるのか、流れる量によってはちょっと危険だなという心配もするんですけども、そこらはどうなんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 申し訳ございません、それも後ほどお答えをさせていただければと思います。

○議長（濱野茂樹君） 2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 附属書のほうで86ページなんですけど、学校管理運営費ということで、令和2年度は数々の整備をしておるところなんですけど、コロナウイルス感染対策によって小学校、中学校、水道の蛇口だとか、そういったようなところの修繕はなされたのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） こちらの決算附属書のほうでいきますと、伊根小学校、真ん中のほうに工事請負費で自動水栓設置工事、あとトイレ自動照明設置工事と、本庄小学校についても自動水栓設置工事、こちらが蛇口を、電気が取れるところは電気式のジャーッと出るやつで、電気取れないところは乾電池式のものでやっております。

コロナウイルス対策関係は、国のほうから50万円の補助等ありまして、緊急事態宣言措置の対象の都道府県はそれが100万円、それにコロナウイルス対策の交付金で合計200万円、各校それぞれ予算配分になりまして、校長先生の裁量で、こういった自動水栓に替えたり、網戸を設置したり、あと消耗品について、ここに出てきていませんが、必要な消耗品も買ったりして対応しております。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 決算附属書の80ページの備蓄品の充足率です。食料を除いて全部充足になっています。食料のほうで97%ということで、これ何で100%にならないのかなと思うんですけども、何か理由がありますか。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 食料につきまして、この基準では1人当たり2食ということで、2,100食が京都府の基準として示されております、今回、この年度末の棚卸しの段階で

2, 048で97%、令和3年度の予算執行の中で100%充足しておりますので、そのところはご安心をいただきましたらと思います。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 決算附属書の87ページ、学校ICT環境整備事業の教材、タブレットの購入ですが、これは中学校も含めてですけれども、子供さんのことなので、どうしても落としたりとか何かを当てたりとかして画面が割れたり、それから破損することというのがあると思うんです。そういう場合について、家に持って帰っておられるのか、今どうか分かりませんが、家に持って帰っておってコーヒーこぼしたとか、そういうので破損した場合、修理についてはどういうふうに考えておられるのか。結構修理となれば、負担が大きいなと思うんですけれども、お考えをお聞かせください。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） タブレット端末につきましては、現在のところ持ち帰りはしておりませんが、臨時休校等なった場合には持ち帰れるよう進めております。

壊れた場合なんですけれども、校内においても家庭においても、故意に、わざと壊した場合と、あとそうじゃない、たまたま壊した場合とあると思うんですけれども、基本的には、本当に悪質に壊したという場合でない限り、修理なり予備機によって、町の予算のほうで対応する予定です。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 大変安心したんですが、保険というのにはそれは入っておられるんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石井次長。

○教育次長（石井明博君） 保険のほうは最初想定していなくて、保守契約が可能でしたが、保守契約の金額とスポットで修理する場合と検討しまして、現在のところ保守契約せずに、その都度修理をする方向で考えておまして、最近保険の商品も出てきているようですので、今後は保険のほうもちょっと検討したいなと思っています。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 先ほど大谷議員よりご質問いただきました沈砂池の土砂撤去工事でございますが、撤去土砂量は355㎥ということでございます。

○議長（濱野茂樹君） 6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） これは多いのか少ないのか、ちょっと僕、判断ができませんが、担当として多いと思っておられますか、少ないと思っておられますか。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 355㎥流れ出してくるということであろうかと思いますが、土砂を受け入れておる以上、ある程度のそういった土砂の流出というものはやむを得ないものと考えております。355㎥という水が仮に一気に流れてきたとしましたら、大変な災害が起こるであろうと思います。そういった意味も含めまして、これは残土処分場を運営しておる町としての責務としてやるものでございますので、搬入される土砂が流出しやすいものであるかどうかというよりも、義務としてやるべきでありますし、多い少ないというものではないかなと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。

休憩 10時35分

再開 10時36分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 附属書の73ページ、決算書の149ページ、住宅費、住宅管理費の町営住宅の管理事業のことでお伺いいたします。

修繕料が毎年多額発生しているんですけれども、例えば給湯器の修繕なんですけれども、その頻度、どういう年数使用されたのか分からないんですけれども、退去されたその都度、機器を交換されるのか、メンテナンスされるのか。多少の使用頻度が少なかったら点検程度で済ませて、例えば

故障したときに修繕するとか、そういう方法で少しでも修繕費を抑えるとか、そういう方法は考えられないのでしょうか。

もう一点、決算書の工事請負費の内訳はどうなっておりますでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 町営住宅の小修繕等でございますが、現実問題として、毎年1回点検等にお伺いするというのも当然考えていくべきことかもしれないんですけども、取りあえず現状を申し上げますと、故障したという段階で町のほうにご連絡をいただきまして、それに対して修繕を行っていくというものでございます。

当然、新しいうちは故障は少ないですけども、古くなってまいりますと、どうしても故障は増えてまいります。また、修繕費の中には、退去された後に次の方が入るまでに内装をやり替えたりするというのもございますし、清掃するというのもございますので、そういった経費も含めてここには計上されております。

それから、決算書のほうの工事費20万円ぐらいのものなんですけれども、これは恐らく、修繕費が比較的高額であったものを工事費のほうに計上してある予算で執行したものだと思います。詳細につきましては、またお調べをさせていただきます。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。8番、佐戸議員。

○8番（佐戸仁志君） 附属書の76ページの消防団の行事等の活動なんですけど、昨年度、ほぼ全ての行事が中止、今年度も今のところ、ほぼ中止になっていると思いますが、この中にもほとんどの方が、消防団の幹部を経験された方がおられると思うんですけど、消防団員の士気、非常時における活動ができるかどうか。この辺はどうお考えかをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま佐戸議員からご指摘をいただきました消防団員の士気の維持でございますね、非常に重要な問題というふうに私どもも考えます。

このように1年間を通して各種行事、訓練ができなかったという事態は、これまでにない事態です。現在の消防団の幹部の皆さんも、同じように危機感を持っておられるのではないかなというふうに推測しておりまして、団長以下幹部の皆さん方で、今後のコロナ禍が過ぎ去った後、あるいは、このような状況下でもできる様な士気と技能の維持、こういったことをお考えいただいておりますのではないかなと推測しておりますところでございます。

また一方で、現在政府のほうで、緊急事態宣言中であっても、PCR検査で陰性であることが分かっている方や接種済みの方については、一定の行動制限を緩めていく方向性が今示されようとしております。このような中で、消防団の訓練等も再開の見通しが立ちましたら、速やかに実施していただきまして、士気の維持・高揚を図っていただくようなことができればというふうに今思っておりますところでございます。

○議長（濱野茂樹君） 質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、特別会計の国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、国民健康保険特別会計の伊根診療所勘定及び本庄診療所勘定の歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、簡易水道特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。2番、上辻議員。

○2番（上辻 亨君） 附属書のほうで127ページ、簡易水道施設建設改良事業の状況ということで、いろいろところで工事をされておったわけですが、今回補正でも、蒲入地区のほうで給水管の周りが沈下したというような事例がありました。このようなことを調べるといような予算組みはされていなかったのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 休憩します。

休憩 10時49分

再開 10時49分

○議長（濱野茂樹君） 再開します。

休憩前に引き続き会議を開きます。

森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 予防的予算のことをおっしゃっておられることと思いますが、現在のところ、そういった予算はつけておりません。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 決算附属書の126ページです。2節の2番、配水量の状況分析の欄の一番下の有収率ですが、過去から見てみますと、大体有収率94%前後で推移しておるんですけども、今回90%を切ったということは、これは冬の凍結による管の破裂による漏水と見るべきなのか、それとも送水管の老朽化による漏水が増えたと見るべきなのか、そこらのことが検討されておりましたら聞かせてください。

○議長（濱野茂樹君） 森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 有収率につきましては、昨年度、小規模な漏水が長期間に及んだためということで聞いております。ただ、漏水はあるようだけれども、どこが漏水しているという点についてはなかなか把握が難しく、漏水の度合いが大きくなってくると漏水箇所も発見しやすくなるということもございまして、なかなかすぐに修理をすることができなかったということで聞いております。そういうところで有収率が下がったということもございまして、

老朽管につきましては、計画的に本管の敷設替え等させていただいておりますので、老朽化のみならず様々な要因で漏水に至る経過が、要因があるかと思っておりますので、この点については、ある程度やむを得ないかなと考えております。

○議長（濱野茂樹君） 質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、下水道事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、財産区特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定及び介護サービス事業勘定を対象として質疑を行います。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 決算附属書の137ページです。②の生活支援体制整備事業費ですけども、蒲入のほうに1万円補助が出ています。去年は蒲入は2万円だったと思うんですけども、補助金が。これは、コロナウイルス対策で開催回数が減ったという理由で減額になったのでしょうか。

それから関連して、去年は峠もこの補助金を受けていたと思うんですけども、やっぱりコロナウイルス対策の中で、なかなか開催できないというので減ったのかなと想像するんですけども、これから参加する地区を増やしていくというふうな取組はされるのでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） ただいまの生活支援体制整備事業でございます。

令和2年度は蒲入地区1件のみ、令和元年度は他地区もあったというところでございます。この事業、どこまでいきましたも、地域が実施主体となって取り組まれるものですので、その地域がされることに對し、町として支援をしていく、開催の内容であったり、やり方であったり、さらには財源的な支援も行っていくというものでありますので、地域が積極的に取り組まれるよう進めていくべきことかも分かりませんし、そうではなく、例えば社協さんであったりとかNPOさんが入っているところも多々あったりしますので、今後そういったところとの、事業を実施されているところとの兼ね合いもございまして、一概にしていないというものではないかと思っておりますので、なかなか事業所などが取り組みにくいところがあるようで、必要であると判断するならば、支援に向けた調整が必要かなと考えております。

金額がちょっと減ったのは、開催回数の問題なのかどうかまではちょっと今お答えできないので、調査必要でしたら、また後ほどお答えさせていただこうとは思いますが、ちょっと金額のところまでまだ調べておりません。

○議長（濱野茂樹君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） すみません、3つ目、③の認知症総合支援事業なんですが、これは新型コロナウイルス対策のため、検討委員会が中止になったという説明がありましたが、もともと対象者がいなかったということではないのでしょうか。昨年度の資料を見ますと、1名対象者がおられて、新型コロナウイルス対策の関係で書面での検討会を開かれたということだったんですけれども、今年を対象者を挙げることも新型コロナウイルス対策の関係で難しかったということなのか、もともと対象者がいなくてこうなったということなのか、どうでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） コロナウイルス対策の関係で中止というところでありまして。対象者がいれば必要な事業は支援していく、必要なときには必要なことをする、コロナウイルス対策だったからといって必要なことをしていないというものではない。特に、コロナウイルス対策が今回の決算附属書、多くございまして、特に年度当初、まだ何も見えない4月頃の状況を思い返していただきたいんですが、一斉の休校要請があった頃、今の感染状況と比較してどうかと言われると、そこまでは私も言うつもりはないですが、目に見えないコロナウイルス対策の関係で、かなりの事業を休止していたところがあるので、今回附属書のほうでは、こういった認知症初期集中支援事業としては行えなかったというもので、必要な方へは必要な支援をさせていただいております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、訪問看護事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

最後に、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

ここで、先ほど中嶋議員より質問のありました決算書149ページ、町営住宅管理事業工事請負費について、答弁保留の分、答弁を求めます。

森田課長。

○地域整備課長（森田連三君） 先ほど中嶋議員よりご質問いただいた件についてお答えいたします。

工事費の内訳につきましては、本庄宇治特定公共賃貸住宅の低木撤去、こちらのほうが9万9,900円、それから、日出団地付近に公園があるんですけれども、こちらの滑り台撤去、こち

らが11万円の執行となっております。

○議長（濱野茂樹君） 以上で令和2年度歳入歳出決算の全ての会計の質疑が終わりましたが、この際、全ての会期を通して何か質疑がありましたら、これを受けることといたします。ほかに、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算について質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 防災備蓄品の処分期限のことでちょっとお伺いしたいんですけども、食料品の期限来ると、どういうふうに分けられているのかお聞きしたいんですけども、アルファ米なんか結構日もちもすると思うんです。期限が来る前、見込まれるやつは、例えば何かの集会で皆さんにそういう防災体験をしてもらうときに試食してもらうとか、そういう無駄にならない処分方法とか、そういうのは考えられないものなんでしょうか。

○議長（濱野茂樹君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまの防災備蓄品の食料品の処分期限の件でございますが、本年度は実施できておりませんが、例年、コロナ禍以前の状態のときには、本町が主催しまして各地域で実施していただきます防災訓練におきまして、実際に消費期限の近づいたものから参加者の方に試しにお使いいただき、食べてみていただく、実際に使うときには水でも食べられるようになりますよ、でも、お湯で戻すというふうになりますよというような実際の体験をしていただいております。また、災害発生時、避難所を開設した際におきましては、そこで提供もさせていただいております。なくなっていく部分もございます。

令和2年度、令和元年度のコロナ禍においては、そういった訓練ができておりませんでしたので、消費できておりません。この分については、どのようにさせていただくのがよいのか、今ちょっと考えがなかなか至っていないんですけども、これ以外の部分でも、例えば教育委員会と連携して、学校で何かそういったような教材的な使い方ができないかというようなことも一時考えていたいたりもしております。

このような形で、できるだけ無駄にならない方法は、こちらのほうでも鋭意検討させていただき、これからも考えていきたいというふうに考えております。

○議長（濱野茂樹君） ほかに質疑はありませんか。質疑なしの声がありますが、これで一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（濱野茂樹君） 異議なしと認めます。

これで議案第37号 令和2年度伊根町歳入歳出決算の質疑を終わります。

## ◎ 散 会

○議長（濱野茂樹君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

本日で全ての決算質疑が終了しましたので、9月14日に予定しておりました本会議は休会とし、最終日17日は午前9時30分から開催する予定でありますので、よろしくお願いします。

なお、初めに一般質問から行います。

お疲れさまでした。

散会 11時09分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員